

東庄の森だより

〒289-0624 香取郡東庄町小南 639 TEL:0478-87-0393

NO.52

休園日/年中無休

開園時間/9:00~17:00(10月末まで)



よく見る花なのに…

気が付かない人が多い

「怖い外来植物」

自分の庭や近隣、道路際などに、この花達を見たことはありませんか？
一見可愛いし、何か知らない間に庭に生えていたから…などとそのままにしている人が多いと思います。雑草じゃなく花だし、キレイに見えるから…
それ、ダメなのです！

自分の大切にしている他の植物に影響を及ぼす可能性があるからです。
下記の**特定外来種**は「栽培や保持が法律で禁止」されています。
まだ特定されていないその他の外来植物でも年々繁殖を広げています。
中でも「ナガミヒナゲシ」は種子の数も凄いです、凸凹形状の小さい種子はタイヤや靴底にくっつきやすく、あちこちで繁殖。素手で触るとかぶれたり、ヨモギの葉と似ているので誤って口に入れられないよう注意が必要です。

日本の生態系などに重大な被害を及ぼす外来植物は、**拡散防止のため駆除を!!**

- ① 種子を飛散させない
- ② 抜き取る
- ③ ビニール袋に入れる
- ④ 天日干しで枯死
- ⑤ 可燃ごみで処分

和名	ナガミヒナゲシ	セイタカアワダチソウ	オオキンケイギク	オオハンゴンソウ
	その他の外来植物(指定植物に匹敵)	その他の外来植物	特定外来種 2006年指定	特定外来種 2006年指定
画像				
特徴	ひとつの実に種子が 1600粒 。ひとつの個体で 100個 の実を付ける事もあり、最大で種子数は 15万粒 にも。(タンポポは一つの実に200~300粒) 種子は凸凹があり未熟な状態でも発芽。周辺の植物を阻害 (アレロパシー)	根や地下茎から種子の発芽を抑制する化学物質を出して、周辺に生えている植物の生育を阻害する (アレロパシー)	強靱な性質のため定着すると、在来の野草の生育場所を奪い、周囲の環境を一変させる。	種子は土中で休眠し何年でも生き続ける。群生すると駆除してもすぐに再生。農薬に強い。

「アレロパシー」とは

「他感作用」または「遠隔作用」といい、ある植物が作る化学物質が、他の植物・微生物・昆虫・動物などに、直接または間接的に影響を及ぼす現象。

そのアレロパシーを引き起こす化学物質を他感作用物質という。一般には、植物が他の植物に作用する現象の事。

※参考資料：農環研ニュース他

*6月17日(土)

~精神統一体験~「座禅と写経」

参加費 1.000 円/人 15 名程度



6.7.8 月
イベント

*7月22日(土)~7月30日(日)

~森の恵みを使って~

「木エクラフトを自由につくろう」

基本セット 300 円 (作品により追加料金あり)

午前・午後 各 1 組/日



*7月1日(土)・8日(土)

~自然観察~「幻想的なホタルを見に行こう」

参加費 100 円/1 人(保険含) 15 組



似ているなあ..

花・木 シリーズ①

*8月5日(土)・6日(日)

~キッズ体験~「流しそうめん」

参加費 500 円/1 人(5 名まで)

10:00~(各回 30 分間) 5 組(回)



*8月11日(祝)

~自然素材でつくる~「竹とうろう」

参加費 1.000 円/人 10 名程度

~春の花
ハナミズキ
(アメリカヤマボウシ)

※白い部分は
花びらではなく
苞(ほう)

~初夏の花
ヤマボウシ
(山法師)



- * 原産地:アメリカ
- * 4月頃~5月頃
- * 花が咲いてから葉が出る
- * 苞(ほう)は丸く凹んでいる
- * 食べられない果実

- * 原産地:日本
- * 5月中旬~6月下旬頃
- * 葉の後に花が咲く
- * 苞(ほう)の先が尖っている
- * 食べられる果実